

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公開します。

会 議 名	平成29年度 第2回高松市在宅医療介護連携推進会議
開 催 日 時	平成29年7月18日（火）19：00～20：30
開 催 場 所	高松市医師会館 2階 大会議室
議 題	1 退院支援・医療介護連携部会と「第1回退院調整・地域連携打ち合わせ会」の報告について ・第2回・3回退院支援・医療介護連携部会の報告 ・「第1回退院調整・地域連携打ち合わせ会」の報告 2 第1回在宅ケア便利帳部会の報告について 3 その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	16人 吉澤委員長、大原職務代理、青木委員、安藤委員、大橋委員、長内委員、木村委員、多田委員、田中委員、辻委員、永岡委員、坂東委員、古川委員、松本委員、三宅委員、和田委員
関係者	市医師会事務局（4人） その他：医師会（伊藤副会長）、歯科医師会（森井常務理事）、県随員（1人）
傍 聴 者	0人
担 当 課 及 連 絡 先	長寿福祉課 地域包括ケア推進室 839-2345 介護保険課 839-2326 地域包括支援センター 839-2811 保健対策課 地域医療対策室 839-3805

協議経過及び協議結果

1 退院支援・医療介護連携部会と「第1回退院調整・地域連携打ち合わせ会」の報告について（資料1、1-2、別紙）

○A委員より報告がある。

（委員長） ケアマネジャーのアンケートについてB委員から一言どうぞ。

（B委員） 非常に時間がかかったもので、こちらも分析ができていなかったのは、失敗したかなと思いました。ケアマネジャー一人一人の意見で、退院時にケアマネジャーに連絡する時期と内容については、ケースバイケースで様々でしたので、何らかのルールはあるのかと思いました。もし多職種連携で退院時のルールを作られた場合、高松市のケアマネジャー約480人全てに、こういうルールですので、御協力をお願いします。ということ伝えていこうかと思います。皆の意見に温度差がありすぎて何とも言えない。逆に医療機関がケアマネジャーに対しての苦情とかもあるかと思うのですが、こうなりましたというシステムをケアマネジャーに伝

えていこうかと思ひます。

(委員長) ケアマネジャーさんは人数が多いですが、直面している相手が、病院であったり、施設であったり、行政であったり、あるいは個人個人であったり、ケアマネジャーさんの種類というか、その中で温度差もでてくるかと思ひますし、思っていることも違ふかと思ひます。なかなか難しいと思ひますが、それをできるだけ統一した考え方にしていただきたらと思ひます。

○委員長より別紙の医師会のアンケートについて説明がある。

(C 委員) このアンケートはどのように使われるのですか。先生のお話しでしたら、これに手を挙げた先生方に勉強会をするという流れですが、そういう先生方の手挙げを希望するのであれば、このアンケート内容はずれているような。基本的に看取りの数が在宅等ではあまり流用していないので、一人の先生でやっているところが一年間で一人なのと、D 先生のようなところで何人かの先生でやっているところでは違ふので。

(委員長) 別に数を競っているのではなくて、どのくらいの方がどんなふうに頑張っているのかを把握したいだけです。その内容で優越を付けたりと、順番を付けるというのではないです。今後そういった人達に講師になっていただいたり、お互いに連携していくところで、サポートする側とされる側、あるいはアドバイスをあげる側ともらう側、それぞれいろんな場面で違ふと思ひます。そういったところでネットワークを作る上で参考にしていきたく。基礎データにもなります。これで手を挙げてくれた人が全て受講生であって、その中には非常勤やベテランの先生もおられる。その人達から御意見をいただいたり、教えていただくという、アンケート内容でもあります。

(C 委員) このアンケートで先生方の状況を確認し、勉強会で受講する側ではなく、教える側の先生もピックアップするために現状を知るという意味のアンケートですか。

(委員長) そうです。高松市医師会の中におられる先生方の在宅医療に対するモチベーションをここで一つに揃えて、同じ方向に向かって進んでいきたいと。もちろん私は私の道を行くという先生もおられて当然だと思ひますし、自分の知っている患者さんだけをエリアとしてまとめていくという先生もいて当然だと思ひます。そういうところが把握できればと思ひます。また、結果については後日お知らせいたします。

2 第1回在宅ケア便利帳部会の報告について(資料2、別紙1、別紙2)

○D 委員より、報告がある。

→質問等なし。

3 その他

○委員長より、「在宅看護学教育の体制整備と強化」について説明がある。

(委員長) この会議からの決議として、県に対して要望書を出すという事に賛成していただけますか。

→異議なし。

(委員長) ありがとうございます。要望書のたたき台をなるべく早く作りまして、次回お見せして、県の方に提出したいと思います。

○委員長より「平成29年度在宅医療介護連携支援体制検討事業」について説明がある。

(委員長) 地域への助成ということで、1つの医師会に61万4千円が県から支援されますので、今年の行事の中でその予算を使って何かをしたいのですが。

多職種連携の研修を豪華にするとかでもいいし、何かこのお金を使って地域包括ケアシステムとして出来そうなイベントを考えつきそうな方はいらっしゃいますか。

今日結論がでなくてもいいので、次回の会の時までには何か50万～60万円のできるような行事や、もちろん既存の行事に使うのもいいですし、何かアイデアを考えて来ててください。

【次回の日程】

平成29年度第3回高松市在宅医療介護連携推進会議を、平成29年9月27日（水）19：00～高松市医師会館にて開催することとなる